

令和4（2022）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

ブロック：中央ブロック

マアナゴ

海域	太平洋中・南部（伊勢・三河湾を除く）	参加機関	水産研究・教育機構 水産資源研究所 社会・生態系システム部、千葉県水産総合研究センター、東京都島しょ農林水産総合センター、神奈川県水産技術センター、徳島県立農林水産総合技術支援センター水産研究課、高知県水産試験場
----	--------------------	------	--

(1) 調査の概要

- ・「あなご類」としては漁業・養殖業生産統計年報が利用可能である。太平洋中区での漁獲量が多く、太平洋南区は少ない
- ・千葉県、東京都、神奈川県、徳島県、高知県において漁獲量等の収集を実施中である
- ・千葉県では沿岸重要水産資源として、本種の資源評価が実施されている。ただし、銚子、九十九里で漁獲されるマアナゴの分布は太平洋北部海域との関係が強いことに留意する必要がある
- ・神奈川県では重要水産資源として、東京湾を対象に資源評価が実施されている

(2) データ収集状況

- ・2021年の太平洋中区・南区における「あなご類」漁獲量は 合計216トンであった
- ・千葉県の沿岸重要水産資源令和3年度資源評価では、東京湾では小型底びき網、銚子・九十九里では沖合底びき網のCPUE（kg/曳網）を基準に、2020年の水準を東京湾では低位、銚子・九十九里では高位、動向を東京湾では不明、銚子・九十九里では増加と評価している（千葉県 2022）
- ・千葉県では主要11漁協を対象に1998～2020年の漁獲量を収集済み
- ・神奈川県の「令和3年神奈川県周辺海域における重要水産資源の動向」では、横浜市漁協柴支所のあなご筒の漁獲量を基準に、本種資源の動向を低位・減少としている（神奈川県 2022）
- ・神奈川県では1漁協を対象に2015年以降の月別漁獲量を収集済み
- ・東京都では2000～2020年の年別漁獲量を収集済み
- ・徳島県では2005～2021年の標本漁協の小型底びき網の月別漁獲量、操業隻数、CPUEを収集済み
- ・高知県では2010～2021年の漁法別月別漁獲量を収集済み

(3) 生物学的特性

- ・「マアナゴ伊勢・三河湾の資源評価報告（横内ほか 2022）」を参考に以下を記載した

- (1) 分布・回遊：日本沿岸のほぼ全域および朝鮮半島沿岸、渤海、黄海、東シナ海に幅広く分布する。主たる分布域は沿岸浅海域であるが、幅広い分布水深帯を持つ。仔魚（レプトケファルス）は、南西諸島に近い黒潮流域で採集報告があり、黒潮などの海流による長距離の移動分散の後、接岸する。春季に変態直前から変態期の個体が沿岸域に出現し、浅海の静穏域で変態して着底する。内湾で着底・成長した個体は、加齢とともに湾外へと移動するものと考えられる
- (2) 年齢・成長：鍋島（2001）によると、平均全長は雌の場合、1歳で全長 28 cm（15～30 cm）、2歳で 38 cm（30～45 cm）、3歳で 48 cm（40～55 cm）、4歳で 57 cm（50～63 cm）、雄の場合、1歳で 27 cm（15～30 cm）、2歳で 37 cm（30～44 cm）、3歳で 45 cm（40～55 cm）、4歳で 52 cm（48～56 cm）に成長し、雌の方が若干成長の早い傾向がある。
- (3) 成熟・産卵：成熟した卵を持ったマアナゴ親魚が天然では全く得られていないなど、成熟・産卵生態については不明な点が多い。産卵場の一つが、沖ノ島島南方の九州パラオ海嶺付近に確認されている
- (4) 被捕食関係：稚魚は小型の底生生物、成長につれエビ類、魚類、軟体類を捕食する。捕食者については不明

(4) 備考

- ・千葉県では、東京湾においては、小型底びき網で休漁日の設定、操業時間の制限および漁具の制限、あなご筒で水抜き穴の拡大による小型魚の保護など、銚子・九十九里においては、小型底びき網で改良漁具導入による小型魚の保護など、漁業者による自主的な資源管理が行われている
- ・神奈川県では「東京内湾海域小型機船底びき網漁業 包括的資源回復計画」に基づき、漁獲物規制、操業時間制限、漁具規制、休漁日の設定が実施されている。あなご筒では水抜き穴の拡大等による小型魚の保護など漁業者による自主的な資源管理が行われている

引用文献

千葉県 (2022) 千葉県沿岸水産資源の年度資源評価 マアナゴ (令和3年度)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/gyoshigen/sigenhyoka/documents/06-r3maanago.pdf>

神奈川県 (2022) 令和3年神奈川県周辺海域における重要水産資源の動向 (マアナゴ)

https://www.pref.kanagawa.jp/documents/83546/r3_07_maanago.pdf

鍋島靖信 (2001) マアナゴの成長と食性、月刊海洋, **33**, 544-550

横内一樹・澤山周平・青木一弘・堀 正和・川内陽平 (2022) 令和3 (2022) 年度マアナゴ伊勢・三河湾の資源評価、水産庁・水産機構

<http://www.abchan.fra.go.jp/digests2021/details/202120.pdf>